

夜間学級の今語るろう

年齢・国籍超え真剣に学ぶ生徒たち

何らかの事情で、義務教育を受けられなかった人たちが通う夜間中学。横浜市立中学には五つの夜間学級があり、40人近い生徒が学んでいる。こうした夜間学級の現状を語り合うイベントが14日、同市で開催される。

(斎藤博美)



14日・横浜でイベント

市教育委員会によると、1校定員8人の夜間学級に通う生徒は2月現在で37人。戦後、家業の漁業を手伝い、学校へ行けなかった子どもたちのためにできた横浜の夜間学級だが、最近では外国籍の生徒が増え、今は30人を占める。市立鶴見中学で学ぶ中国から来た17歳の少女は3年生。卒業式で答辞を述べるため、担任の井上和明教諭(49)の指導を受け必死で練習中だ。井上教諭によると、1年半前の入学時には日本語がほとんど話せなかったが、短い間に努

力を重ね、県立高校に合格した。

少女は「1111の勉強は楽しかった」と語る。家庭科で裁縫をほめられたのがうれしかったという。

「高校進学や就職は2目的がはっきりしているのだけど、生徒もとても熱心です」。

夜間学級の手伝いを15年ほど続け、今回のイベントを主催する「横浜の夜間学級を考える会」代表の三階泰子さんは話す。「年齢や国籍の違いを超えて真剣に学ぶ生徒の現状を多くの人に知ってほしい」

イベント当日は、東京の夜間中学や横浜の夜間学級の教師、生徒、卒業生らがトークに参加し、現状を語る予定。東京都の夜間中学を推したドキュメント映画「こんばんは」の上映や、全員のソプラノ歌手塩谷靖子さんによる独唱も予定されている。

午後1時20分から。映画と独唱のあと、午後3時半からトーク予定。横浜市中区桜木町1丁目目のクリーンセンター4階、横浜市民活動支援センター(045・2233・2666)で。事前予約不要。資

横浜市立鶴見中学校の夜間学級。この日の授業は理科の実験だった。横

浜市鶴見区

料代3000円。問い合わせは三階さん(050・31118・68331)。